

令和2年度 第1回長野県長野高等学校学校評議員懇談会 記録

1. 日 時 令和2年9月25日(金) 15:00～17:00

2. 会 場 長野県長野高等学校 大会議室

3. 出席者

学校評議員5名(五十音順)

小林哲夫氏(上松区区長)、関 奈美氏(長野市PTA 連合会副会長)

藤井純子氏(東口メンタルクリニック臨床心理士)、松本 清氏(長野運送(株) 代表取締役)

鷺澤幸一氏(炭平コーポレーション(株) 代表取締役)

学校職員10名

4. 懇談会

(1) 開 会 14:55

(2) 学校長あいさつ (14:55～)

- ・コロナ対策：オンライン授業実施，各種行事変更，本校の現状と方針（PCR 検査実施数，陽性への対応），今年度は，手探り状態

(3) 自己紹介(高校職員のみ)

(4) 学校より(15:03～)

①新型コロナウイルス感染症等に対する本校の対応について(15:03)

・これまでの経過

「授業」 4月からの休校経緯，7/19～8/2 授業時間回復措置

「行事」 4～6月各種行事は中止，7月金鵒祭実施の状況，9月クスマツ開催

2学年研修旅行は，台湾への渡航中止・オンライン交流，各クラスで県内宿泊

・休校中の学習支援

「学びの継続」を目指す。各教科の対応の説明、及び実際の映像を使つての説明。
家庭の状況に応じて，登校によるオンライン授業受講の体制も整える

・今後について

オンライン授業に対する生徒・保護者アンケートではほぼ好評であった。時間割を個人で組むことができるメリットを生かし，配信時間は15～20分で作成するなど，今後休校に備えてより質の高い動画の作成を試みる。クラスHRもオンラインで実施する。

・意見交換

委員：今後コロナ感染者が1人でも出れば休校となるのか。

学校：県の指導に沿いながら，校長が判断する。

委員：アンケートで，保護者の評価が生徒に比べやや低い印象があるがどうなのか

学校：自由記述から家庭の協力は得られていると思う。また、授業のライブ配信は15～20分が集中力の持続から観点から効果が高いと思われる。学習時間は増えている。

委員：試行錯誤の中での職員の努力はご苦労様でした。オンライン授業について、校内でのノウハウや職員の連携はどのようになっているのか。

学校：職員は協力して実施しており、その一助として、他校の情報を流している。

学校：他校との連携をして、参考にしている。

委員：3月に卒業した生徒からの反応はあるか

学校：卒業生にも不要不急の学校への来校を避けるように連絡。卒業生の声として、卒業生間のつながりが切れる不安、大学の所在地に行けず戻って長野に居住する報告、夏休み以後の大学の後期講義に期待したいなどがあった。

委員：オンライン授業への、職員間の世代間ギャップの有無や、協力体制の現状はどうか。

学校：ケースバイケースだが、得意な人がリードしたり、相互に撮影しながら意見交換をしている。

委員：休校の準備の状況はどうであったのか。

学校：学校長は校内の様子を自ら撮影して、早い時期から生徒に流していた。職員実情は、3月は後ろ向き、4月は必要に迫られてやらざるを得ない状況であった。ゼロからのスタートのため職員の負担は大きかったが、現在は“ワンチーム”となって協力体制を組み順調である。

② 全日制の状況について（15:45～）

・概況（教頭より）

学年通信の紹介をしながら、各学年の状況報告。1学年は手探り状態でスタートし、ようやく軌道に乗る。2学年は進路に向けての意識形成。3学年は受験への情報提供と意識向上をしている。

・進路指導係より

資料に沿って、過去20年間で最も良かった合格者数、現役合格を希望する生徒・保護者の増加、新入試制度への状況と対応の報告。今年度の状況説明として、今年度から始まる共通テストと個別入試は不確実な要素が多いこと、共通テストでは、本校生徒はほぼ第1日程の希望をしていることなどがあった。なお、今年度模試の結果は、例年に比べ、コロナで自宅学習が増えたためか、現役生の点数が高い。

・生徒指導係より

資料に沿って、本年度は軽微を含め6件交通事故、SNSの不適切な利用は増加がみられることに対する専門機関との連携の強化、心の健康相談は増加傾向。

・生徒会係より

コロナの影響で生徒会行事の中止・変更が多数あった。しかし、「金鵒祭」については、制限が多い中、執行部の努力により、多くの生徒が満足する結果が得られた。

・NGP係より

オンライン授業の実践報告。教科横断型授業，海外との交流，他校との交流に一定の成果が得られた。

③ 定時制の状況について（16:20～）（定時制教頭より）

- ・卒業生の進路状況。公立短大の進学者あり。
- ・在校生の状況：中学校で不登校経験をした生徒が多いが、本校定時制入学で改善みられ、現在の学校生活に満足している。1年生の夏休み前アンケートにもその傾向が読み取ることができる。

④ 今年度の学校評価について

- ・各委員に依頼。

(5) 意見交換(16:25)

委員：大変な状況のなか、学校全体でよく頑張っている。上松地区の行事に美術・書道班の協力を今年もいただき有難い。

委員：“Zoom”使用は大変な苦勞が伴う。長野市内の小中学では、視聴できない家庭があるという理由で、一律使用できなくなっている。学校独自に対応するほうが望ましいと思う。

委員：コロナの影響で大変な状況のなか、学校全体でよく頑張っている。生徒会行事などで、生徒が自ら考えて行動することが素晴らしいと思う。また、生徒が入学を肯定的にとらえている定時制の姿勢に感心した。

委員：コロナ対応で大変ご苦勞している。SDGsに向けて取り組んでいただきたい。

委員：コロナにより、生徒は大変な事態になってしまっている。リクルートしてみると、地方による多様性、それぞれの地方の独自性が出てきている。一方、“色々な悩み”が深くなっていると感じるので、(高校での)対応をお願いしたい。コロナはスマホ同様に共生せざるをえないので、どのようにうまくつきあうかを考えるが必要であると思う。

(6) その他 次回の評議員会、1～2月の開催予定しているが、今回同様メールで調整。

(7) 閉会（16:35） 学校長より